

がじゅまる（デジタル） 通知表の活用③

【三者ミーティングについて】

○本校では、がじゅまる（デジタル）通知表の学校生活についてのルーブリックデータを活用し、「三者ミーティング」行っています。

これまでの評定評価（教師が成績を付ける評価）以上に、子供一人ひとりの「よさや可能性、思い」などを教師や保護者が引き出す個人内評価を重視していきます。「よさや可能性、思い」などを引き出すことが子供の明日への一歩につながり、教育の本質に迫っていけるものと考えています。子供一人ひとりの「よさや可能性、思い」などをうまく引き出せるように、「フィードバックマニュアル」を作成し、ミーティングで活用しています。

座安小フィードバック マニュアル

※個人の目標達成や自己成長をサポートするためのコミュニケーションスキル

※「自分で考え（答えを見つけ）、自分で行動できる」子どもの育成

※答えは「子どもの中にある」小さいことでも確実にフィードバック

三者 M一回目	1	導入	①最近、調子はどうかな？ ○○がんばっているね。 ②最近、元気だね。なにかいいことあったかな？ ③これから、前期の○○さんの目標について話し合いたいけどいいかな？
	2	目標設定	④学校生活ルーブリックの振り返りをみて、これまで自分が一番がんばれたことは何だと思う？ ⑤なぜ、がんばることができたと思う？なぜ、できるようになったと思う？（成功のなぜをできるだけ引き出す） ⑥「なるほど」 ⑦○月は「 」が学校の目標だけど、あなたは今どこまでできていると思う？ ⑧○月の目標はどれにしたい？
	3	解決策・実効策の決定	⑨目標を達成するために大切なもの、必要なものは何だろう？ ⑩目標を達成するために○○をがんばってみようね。
三者 M二回目	4	承認と成果の確認	⑪目標を達成できたと思う？ ⑫できた「目標を達成できたことでどんな気持ちかな？」 「それはうれしいね。よかったね」 「なぜ 目標を達成することができたと思う？なぜ、できるようになったと思う？（成功のなぜをできるだけ引き出す）」 「なるほど」 ⑬できなかった「達成できなかったいちばんの理由はなんだろう」 ⑭できなかった「次にできるようにするためには、なにが必要かな？」 ⑮「なぜやらなかった？」「どうしてやらない？」等責め口調はNG。
	漢字の学び直し学習について		①今年、座安タイムで漢字の学習に取り組んでいるところだけど、（ ）年生の漢字の学習をやってみて、漢字を読んだり、書いたりすることができたと思う？ （できた）・・・◇漢字を読んだり、書いたりすることができたとき、どんな気持ちになる？ ◇読んだり書いたりすることができた理由はなんだと思う？ ◇なるほど ◇夏休みは、これまでのテストを振り返って、読めなかった漢字、書けなかった漢字をもう一度練習してみてください（夏休み自学自習計画紹介）。 （できなかった）・・・◇読んだり書いたりすることができなかった理由はなんだと思う？ ◇「次にできるようにするためには、なにが必要かな？」 ◇なるほど ◇夏休みは、これまでのテストを振り返って、読めなかった漢字、書けなかった漢字をもう一度練習してみてください（夏休み自学自習計画紹介）。